



2023 年度第 3 回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 2023 年 7 月 2 日 (日) 13:00~16:50

開催場所 静岡県栄養士会事務局 および WEB

出席役員 ○出席 ×欠席 ○W WEB 出席

職域事業部	会長	副会長	副会長	学校		公衛		研究		地域		
氏 名	新井	久保田	若林	松島	戸田	日置	塚本	三浦	篠原	池谷	森平	白石
出 欠	○	○	○	○	○	○	○W	○W	○	○	○W	○W
職域事業部	地域		勤労		医療				福祉			
氏 名	青島	柴原	森下	山崎	鈴木	渡邊美	渡邊潤	中村	太田	田森	杉山	柳澤
出 欠	○	○	○	○	○W	○	○	○W	○W	○	×	○
監 事	関	梅木										
出 欠	○W	○W										

開 会 定刻に至ったため、久保田副会長が出席理事を確認、出席者が過半数（うち WEB 参加 9 名）に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

なお、本日は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、会場に来ることが出来ない理事は ZOOM（WEB 会議）システムを用いて、事務局と自宅または勤務先を繋ぎ、遠隔会議を行った。

ZOOM（WEB 会議）システムにより、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき新井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、医療事業部の渡邊美子理事と渡邊潤理事が指名された。

1 会長あいさつ

これまでに経験をしたことがない総会運営になり、チーム一丸となって開催できましたこと、心より御礼申し上げます。総会運営のマニュアル作成などに取り組んでいただいたことが成功に繋がれた一因と思います。しかし、適切とは言えない部分、想定外に対する対応など、課題も多く見えました。より良い会を構築、運営していくためにも、リフレクションとアップデートを忘れずに対応をお願いいたします。

さて、メールにて連絡を転送しましたが、「健康日本 21（第三次）」の対応、「こども栄養政策」に関する要望書の提出など、日本栄養士会が政策に対して取り組みの見せる化を進めています。併せて都道府県栄養士会としては、そのアクションプランや実行に取り組んでいかなければなりません。理事、リーダーだけでなく、広く会員に周知し、意識、思いを集中、共有していくことが必要

であり、それに対して理事の力は欠かせません。他団体をはじめ、栄養士会に意見や参加を求められることが増えています。会長としての思いは、適材適所となる人材を、会員の中から多く見つけ、推薦、派遣をしたいと考えていますが、現状、名簿もなく、情報収集に苦慮しています。そのため、本件も理事の力が絶対必要です。

さらに、会員増に対して様々な取り組みを計っていただいておりますが、会員増は目的ではなく、ある事業の結果として会員増につながると思います。しかしながら、その事業が不適切である、魅力と感じられない場合は、会員増を導くことが不可能となります。したがって、理事一人ひとりが、取り組まなければならない業務ならびに、本務先の業務が多数あると思いますが、魅力ある栄養士会を作るために、力をより結集していただきたいと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

総会後最初の理事会ではありますが、次年度の役員改選の準備、意見交換、事業計画を行うための理事会は、本会（7月期）を併せて、3回しかありません（10月期、12月期）。未来を見据え、早めに計画を心がけていただければ幸いです。

2 前回議事録の確認

- ・2023年度第2回理事会議事録
全会一致で承認された

3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項）

(1)新井会長

6月7日（水）	静岡社会健康医学大学院大学との面談	静岡県立大学
6月8日（木）	8020推進住民会議委員会	静岡県歯科医師会館
6月20日（火）	静岡県給食協会定時総会	あざれあ
6月23日（金）	静岡県看護協会定時総会	グランシップ
6月24日（土）-25日（日）	2023年度日本栄養士会定時総会	ワシントンホテル新大阪
6月29日（木）	三役会議	WEB

(2)久保田副会長

6月7日（水）	静岡県看護協会訪問（総会お礼）	エスパティオ
6月8日（木）	第1回静栄DAT運営委員会	WEB
6月19日（月）	第1回栄養ケア・ステーション部会議	WEB
6月24日（土）-25日（日）	2023年度日本栄養士会定時総会	ワシントンホテル新大阪
6月29日（木）	三役会議	WEB
7月2日（日）	第2回広報部委員会	静栄事務所

(3)若林副会長

6月8日（木）	第1回静栄DAT運営委員会	WEB
6月23日（金）	富士宮市委託事業打ち合わせ	総合福祉会館
6月29日（木）	三役会議	WEB

4 報告事項

(1) 静栄 DAT (中村理事)

6月8日(木) 2023年度第1回静栄 DAT 運営委員会開催 (WEB) 19:00~20:15

内容: 議事録でご確認ください。

6月20日(火) 医療・保健・福祉分野における災害支援団体連絡会・県健康増進課との会議

7月18日(火) 令和5年度災害時応急対策協定締結事業者研修会

(2) 総務部企画調整委員会 (森下理事)

・2023年度静岡県栄養士会定時総会: 6月3日(土) 11:00~16:30

参加者: あざれあ会場 37名、WEB 配信 56名

・前日の悪天候の影響をうけ、開催に関するおしらせをHPに掲載。急遽会場参加申込の会員に対しWEBへの切り替えメールを配信した。会場準備等の都合で予定より20分遅れで開会した。

来賓出席2名、特別講演講師にはWEB配信に切り替えてご講演いただいた。

総会アンケート: 回答 57名

〈意見・要望〉今後の検討課題 (抜粋)

・研修内容は、Zoomだけでなくオンデマンドにて期間限定で視聴できるようにしていただけたら助かります

・静岡県の健康づくり施策は、総会欠席の方にも共有できるとよいと思います
次年度の総会時に反映できるか今後検討していきたいと思います。

(3) 広報部 (渡邊潤理事)

① 栄養士のおすすめメニュー応募状況について

6月末時点の応募総数は0件であった。

企画は事前応募の2件を掲載する目的もあり、栄養価など検証してホームページへアップする。

② 入会案内およびホームページの修正について

福祉事業部会員増対策で、入会案内、入会申込書の同封希望があったが、郵送料を考慮すると、1枚しか追加できない。

現在9割以上がWeb申込であり、申込用紙はほぼ不要と考え、入会案内にQRコードを追加して静栄ホームページ入会・変更手続きへ誘導、再入会手続きを追記した。

ホームページも入会案内と用語を統一し、再入会について加筆した。

(4) 地区事業部 (塚本理事)

6月17日(土) 地区代表者に地区担当理事のメールを送付した。

「これからの地区研修とブロック研修会について(案)」を作成。三役と地区事業部理事に送付し、

確認してもらった。

(5) 栄養ケア・ステーション部 (杉山理事)

① 栄養ケア・ステーション登録状況 82 名 (うち新規登録者 17 名) 6.19 現在

少しずつ増えている。今後もアピールを続けていく。

② 認定栄養ケア・ステーション数 16 事業所 (+1 か所申請中)

③ 日栄「第一回病院管理栄養士・栄養士のためのコンサルテーションサロン」の紹介

別紙参照 8 月 23 日 (水) 18:30~20:30

「ゼロから始める、栄養ケア・ステーション」と題して ZOOM によるオンライン開催がある。

参加資格等があるが、多方面にわたり、広報していきたい。

(6) 学術部 (栄養士大会企画委員会) (戸田理事)

6 月 27 日 (火) に打ち合わせを実施。 ※議事録参照

(7) 研修部 (渡邊美子理事)

・ 5/14 研修部担当者会議 議事録 ※資料参照

・ 5/14 2023 年度第 1 回日本栄養士会生涯教育担当者会議 復命書ほか ※資料参照

(8) 公益事業委員会 (委託 1、2) (池谷理事)

・ R5 年度 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る研修会

7/15 から申し込み委受け付け開始

・ 令和 5 年度食品表示適正化・活用普及事業委託要領

食品添加物表示作成 7 月中頃完成予定

・ 食べるからつながる地域包括ケア推進事業

7 月前半第 1 回目 ZOOM 打ち合わせ予定

・ 元気を見つめる外食活用推進事業 (高校生の講座)

7/9 日 講師養成講座

参加者 20 名 6/23 時点

・ 富士宮市食文化推進プロジェクト推進事業 (富士宮市フードバレー推進協議会委託) (担当 若林副会長)

事業内容

① 「親子地産地消ツアー」 8 月 2 日及び 3 日 10 時~12 時

「地産地消」と「食育」を学ぶツアーの開催

会場 JA ふじ伊豆ファーマーズマーケット「う宮〜な」

参加者 各日、富士宮市在住小学生の親子 10 組 広報 7 月号にて募集

※ 「親子地産地消ツアー」 担当者 6 名~7 名 決定 第 1 回打ち合わせの実施

第 2 回事業準備 レシピ作成料理調理実習写真撮り 7 月 16 日 (日) 9 時~16 時予定

②「地産地消ランチセミナー」 10月4日(水)

「旬の食材で健康づくり」地産地消ランチセミナー

会場 あさぎりフードパーク「ビュッフェレストランふじさん」

時間 10時30分～12時

参加者数 30名募集 予定

(9)学校健康教育事業部(松島理事)

学校健康教育東海・北陸 CSV 2023年6月18日(日) 18:30～20:00

松島 参加

個別的な相談指導の研修会を全国で進めていく方針

(10)地域活動事業部(池谷理事)

5/24 PM 8:00 理事運営委員会

7/9 AM 10:00 第1回運営委員会

8/27 沼津会場「在宅訪問栄養指導に必要なスキルアップ」研修会

(11)医療事業部(鈴木理事)

病態栄養研修会 11月26日(日) 会場のみ

「PESを学ぶ」午前講演 午後グループワーク 昼食時間を活用して交流会

地区リーダー研修会、全国リーダー研修会の日程について

8/26(土)地区リーダー研修会(web)

R6.2/23(金・祝)地区リーダー研修(web)

(12)福祉事業部(田森理事)

東海北陸ブロックリーダー会議参加 6/2(金) WEB

eiyoun 寺子屋①開催 6/16(日) 16名参加 WEB

栄養マネジメント研修会①開催 6/24(土) 12名参加 WEB

会員増対策手紙送付 6/20(火) 実施

(13)その他

①2024年定時総会(開催日、会場)について(事務局 安倍)

第1回理事会で協議いただいた、2024年6月9日(日)にあざれあ大ホールを予約しました。

②健康栄養知識普及事業について（事務局 安倍）

4月末で一旦締め切ったが、9市町、16名の申し込みがありました。
残り10名、まだ募集中です。

③2023年度日本栄養士会定時総会：6月24日(土)13:00～16:00/25日(日)9:00～12:00（報告）

大阪府 新大阪ワシントンホテルプラザ

出席：日栄代議員 久保田・篠原・池谷・田森(25日) 欠席委任状 渡邊(美)・鈴木・戸田

<議事>2022年度事業報告、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）および財産目録

役員報酬、名誉会員について承認の件、2023年度事業計画、予算について（提案）

公益社団法人日本栄養士会の重要課題について（提案・討論）

<特別講演>6月24日 15:00～16:00 「国の栄養施策の動向について」

厚生労働省 健康局健康課栄養指導室長 清野 富久江氏

・名誉会員4名が承認。静岡県栄養士会坪井厚前会長が名誉会員の証が授与された。

④表彰の推薦について（事務局 安倍）

知事功労別表彰（保健衛生功労） 推薦1名予定

公衆衛生協会会長表彰 推薦1名予定

5 協議事項

(1) 静栄 DAT（中村理事）

- ・2023年度静栄 DAT スタッフ研修案内 資料参照
- ・講師謝金について

講師：島田市立総合医療センター松岡 良太氏

講師謝金：予算25,000 運営委員以外の研修担当者5名分

今後の詳細な打ち合わせをしていく中で、予算以上の経費が掛かる場合、他の科目からの流用をお願いしたいと思います。松岡氏はDMATとして何度も被災地で活動されており、現在派遣要請の経験がない、静栄 DAT スタッフにとってはその経験談や、アドバイスは必ず有事に有効な情報となりますのでぜひ講師としてお招きしたいと考えます。

- ・予算について、前年度は熱海市の保健所講師へ依頼し、講師料の発生なしで開催。

今回は、医師に講師依頼。当初の予算立てと異なる内容となった。

予算の中で流用して講師謝金を3万円にすることが可能か。

- ・急遽変更となることは致し方ないが、基本的には企画の段階で、なるべく予算の中で運営をできるように検討してほしい。

→今回は、予算内で流用した対応について承認

(2)総務部企画調整委員会（森下理事）

理事間の緊急連絡網について 今回のような天候による内容変更や個々の事情による参加・不参加を全理事が把握できるようにしていくためのツールの検討をお願いします。

- ・LINE グループに新理事にも全員登録してもらうなど、共通の連絡ツールが必要。役員、賛助会員、演者の方に対して等の連絡系統を、事前に整備する必要あり。LINE にする場合、利用していない方には同じ内容をメールにも流すなどの対応が必要。

→今年度に関しては、全員に LINE グループに入ってもらうことで運用する。LINE が使えない場合も想定して、連絡網をあらかじめ 3 役で検討（いくつかの手法を整備）。次回理事会で提案できるようにする。

- ・今年度の総会では、賛助会員で事前に静岡入りしている方には参加してもらえた。他エリアからの参加は新幹線等が不通で不可。→次年度以降は、募集時に緊急連絡先を確認しておく。

- ・演者で県の講師の方には、県の理事に対応を依頼。特別講演の講師などは、窓口になった方に対応先を確認しておいてもらう（来場できない場合も想定して、事前に対応方法を相談）。

- ・総会運営についての気づきや確認点などがあれば、総務部企画調整委員会まで伝えて、次年度へのシナリオ等へ記載しておく。来賓にお花をつけるのを忘れてしまった。役割分担を明確にしておく必要がある。

- ・他団体の総会に参加した際に、理事以外に、協力員（運営委員）が設営や移動などに対応・運営していた。理事だけでなく、運営委員などの協力体制の検討も行い、次年度につなげる。

(3)広報部（渡邊潤理事）

- ・静岡県栄養士会共有ファイルサーバーの導入についてパイロット運用を計画《資料》
共有ファイルサーバーについて、どんなものを使用するか、どうやって導入していくかや使用方法(案)について、資料を確認。

<目的>

- ①理事会資料等の文書ファイルの送付や印刷など、の手間やコストを削減するため、共有ファイルサーバーを導入して資料の電子化（ペーパーレス）を推進したい。
- ②理事の任期が 2 年間のため、引き継ぎの際、前年度のことがわからない、漏れている内容がある等の課題があるが、それに対しても、ファイルをある程度ためておくことでノウハウが貯まる。また、PC・スマホなど、どこからでも同じ情報にアクセスできるメリットがある。共有ファイルを活用することで、結果的に書類の置き場所が決まってくる。
- ①理事会資料について、現在は事務局で作成した理事会次第に各理事が記載して送付したものを、事務局でまとめている。理事会資料は多いと 1 人 100 ページ程度となり、印刷費用、手間、

郵送などの費用がかかる。

➡まずは理事会資料について行う。一度に全員ということではなく、事前に理事の希望を確認して、ペーパーレスでも良いという方から、個々にサーバーより対応してもらい、徐々にスタート。ステップですすめる。

審議事項だけは、配布した方がやりやすい（メモがとれる）。印刷は不要だが、タイトルのみ入った資料はあるとよい

（現在は次第が議事録となっているため、タイトルのみの次第が別にあると良い）。

② p4) 現在はメールでやりとりしているため、最新情報がわかりにくい。

ファイル名も個々に名前の付け方が異なりわかりにくいいため、簡単なルールは検討が必要。

p6) 置き場所を決める。ルールを決めて運用。

p7) みんながアクセスできることは、慣れていないと、誤った操作をする可能性あり
（データを消してしまうなど）。

また、静栄では、持ち寄りパソコンのため、アップロードできるのは特定の人にして開始したい。

➡導入期間の検討が必要だが、慣れるまでの期間は、限られた委員で開始・試行。

(案)「静栄養士2」の中にフォルダを作成。そこにアクセスできるのは、招待された人。

招待の仕方では、リンクを知っている人がアクセスできる。

リンクを知っている人全員を閲覧者にするのか、編集者にするのか選択できるため、全員を編集者にするすることで、一つのファイルにみんながアクセスしてかきこみができる。

安全性の使い方として、一つ一つのフォームに制限をかけることができるが、制限はフォルダにかけるのか、一つずつかけるかは検討が必要。原則 G メールを持って行った方が良い。

・ p8) 一般企業用の導入スケジュールのテンプレートで、p9 は予算について記載されている。費用欄に最大5人のユーザーと共有できるとなっているが、同じ権限で操作できる人が5人ということである。使用方法として、リンク先の共有やアクセスするだけの場合は、人数制限なし。今回は無料の範囲でスモールスタート。まずは理事会資料から開始。

・ p11) ファイルサーバーにはいろいろな種類がある。p13 には安全性について記載。Google ドライブが、無料で利用できる範囲が広く、事業内容と相性が良い。また、Google ドライブは、簡単なウィルス検知の機能があり、ブロックしてくれる。

➡方向性としては、全員賛成。三役・事務局・広報部でテスト運用。内容は理事会資料。

時期は未定。可能であれば、今年度に開始したい。まずは使用して、慣れていただく。

将来的には高度な使い方も検討。どうやって細かいことを決めていくのか、どこまでセキュリティをかけるか、パスワードをつけるのかどうかなど、広報でもう少し詰めることで承認。

・ メールマガジン「会長のつぶやき」後継企画について

「会長のつぶやき」が6月号で最終回となったため後継企画として「理事のつぶやき」の

掲載をしたい。執筆は理事の輪番とする。7月号は久保田副会長、8月号は若林副会長。
事業部→職域部長で（案）を作成しているが、順番は調整可能。広報部にて名簿が作成
できたら送付。➡承認

- ・メルマガにアクセスしている人がメルマガ登録者の50%程度。

現在は、LINE などが使いやすく、メール（メルマガ）を開く方が減少している印象。
静栄のインスタは130名程度フォロワーがおり、情報発信のツールはたくさんあるので、
キャッチする側に対応できるようにいくつかのツールで対応する必要あり（メール・文書・
SNS等）身近に簡単にアクセスできる方法も検討が必要。

(4) 地区事業部（塚本理事）

「これからの地区研修とブロック研修会について(案)」これについて、意見を伺いたい。
地区研修会のあり方について、まとめの資料参照。

- ・地区研修の目的は、地区内の会員の交流であるが、地区により参加者が少なかったり、固定したメンバーであったりする。また、地区により地区運営委員が少ないところもあり、地区活動自体が今後困難になることが予想される。そのため、地区研修は多くの方に参加してもらえる形にしていきたい。そして、地区活動に参加したいという栄養士を増やす。また、会員でない方にも参加していただくことで、栄養士会を知っていただく機会としていきたい。

また、ブロック研修は、地区研修の一部で、枠組みを大きくして開催された研修会であった。（つまり、地区研修会とブロック研修会は同じ類の研修会である。）その上で、静岡県栄養士会は研修会の数が多いのであれば、他の事業部の研修とブロック研修を合同で行って予算を削減するのも1つである。ただし、理事は交流会を担当するので、今の形から変えた場合、どのように介入していくか考えていく必要がある。

担当者アンケートの結果から、「参加者が少ない」、「地区の繋がりを持ちたい」「担当理事との関わりが分からない」「会員外に伝わっていない」「ブロック研修をなくしてしまったら、交流会はどうするのか」などの意見がある。これらの意見をまとめて、地区およびブロック研修会についてそれぞれ3つの案が提示された。

<意見>

- ・三役でも議論し、研修会に参加する人が激減しており、今後も地区で率先的に研修会をやるべきかどうかの協議が必要と感じている。
- ・総会アンケートの意見・要望でも、「研修はzoomだけではなく、オンデマンドにて期間限定で視聴できるとよい」「静岡県の健康づくり施策は、総会欠席者にも共有できると良い」等の意見があり、コロナ禍でオンラインが進んだことは良かったが、集合研修に参加する希望の方は減少している。
- ・役員の希望としては、総会・栄養士大会は、来てほしい。この日だけは集まると決めて、WEB配信はしないという考え方もある。総会は議員も来るので100人程度は集まって欲しい。
- ・WEB慣れもあるので、なかなか集合型では集客できない。聴講の研修はオンデマンド、演習

などは地区で集合型といったような変化を付けてみたらどうか。

- ・集合・オンラインのどちらか一つにすることを決めることは困難。講演については、オンラインもうまく活用。
- ・ハイブリッドの研修は、役員の負担は増大するため、慎重にすすめる。
- ・講義など一方的なものはオンデマンドが向いている。ユーザーとしては、はオンデマンドで自由な時間で聴けることはメリットがあるが、グループワーク、実習のように対面や集合がよい内容もある。地区別でやる場合には、その場にいかないとできない内容にするのが良いのでは。
- ・地区とブロックの境目があいまいで難しい。細分化しすぎるのも、わかりにくい。西部は地区研修、ブロック研修共に合同で行っている。しかし、東部は範囲が広く、地区ごとに考え方や活動も異なるため、ブロック開催は集合では難しい。
- ・イベントの声かけをするときには、地区がなくなると、声かけに困る。地区の中で担うポイント、コミュニティ、イベントの勧奨等、役割を考えていく必要あり。

(会長より情報提供)

- ・日本栄養士会は各都道府県栄養の上部組織ではなく、1法人であるため立場は対等である。ただし会員は重なるので、代議員として関わっている。
- ・この度日栄は政策集団としてのありかたについて検討をして、政策をあげていくために職域の変更があり、地域活動事業部と勤労者支援事業部を統一することとなった。静栄としての方向性を考えていきたい。
- ・研修会についても数年前から事業部単位→分野単位になっている。分野別に行うという日栄スタイルで運用する事も検討したい。

- ・政策集団としてのあり方について。

(1) 日本栄養士会における政策とは、管理栄養士・栄養士が実施する国民のための方針や方策である。政策をつくるために意見を挙げて、事業部を担う。

あくまでも日栄は政策を再編成していく。リニューアルも含めて、新しい政策を考えていく。

- ・政策とは。

医療： 診療報酬改定を進めるために、エビデンスを挙げて、国に提言していく。

福祉： 介護報酬改定に尽力。高齢者・障害・児童が含まれるが、本来は児童の部分に特化して進める等の必要あり。

学校： 栄養教諭の配置が進んだが、より普及するために提言をしていく。
こども家庭庁ができた。政策を進める。

行政： 行政栄養士を増やす、健康増進課だけでなく、長寿課などにも配置。

研究教育： 養成校のカリキュラムの見直し。臨地実習の時間数が少なく、海外のRDが認められていない。国を通して実習のあり方を考える。

地域・勤労者：何を政策としてあげていくか、政策の提言は難しい。

(医療・介護・行政などで活動)

(2) 日本栄養士会の政策を具現化、および政策の具現化には職域との関わりが重要であること

から、「職域統括事業部」を「政策・職域推進事業部」に名称を変更。

現在の「勤労者支援」職域と「地域活動」職域を統合し、新たに「フリーランス・栄養関連企業等」職域を置き、7職域から6職域に変更する。

日栄が事業部の再編 7→6 事業部となるが、揃える指示はきていない。各県に任せる。

静栄は、事業編成をするかの検討が必要。三役会議で相談した結果、もう少し7分野で活動しつつ、他県の動向や、会員の意見を聞いて進めていく。

(他県では勤労者支援 0名の県が11県ある)。

- ・2023年度中に 新しい分野の理事を選出して動き出し、2024年度から1本化の予定。

- ・事業部、分野 両方の考え方が動いている。研修会をどのように企画するのか。

事業部毎→三事業部合同・病態などや、地区研修会・ブロック研修会などで開催してきている。今後は分野別で進めた方が良いのか。今すぐ地区をどうするか決めるのではなく、皆さんの意見を聞きながら検討していく。また、統合となるにあたり、勤労者についても、皆さんのご意見を伺いつつ相談していく。

スポーツ栄養も、もっと企画できるようにとの意見も上がってきており、研修会も分野ごとに誰がやるのかも考える必要あり。今後の方向性も考えて議論が必要。

<意見>

- ・講師に有名な先生を呼びたくても、予算が少なく、呼べない。良い先生を呼んだとしても、需要があるのか（優先順位・自身の興味など）。
- ・良い講師を呼ぶために参加費を徴収したい。三事業部の9月の申し込みは、現在12名である。参加費をどう徴収するのか、そこにかかる手間や、参加費徴収することで、会場費が変わる場合もある。以前は、会場で集金をしていたが、集金にするのか振り込みにするのか、集金の場合は運営委員の協力も必要など、考慮しなければならない。
- ・参加費徴収するのであれば結果が求められる。100人以上集まらないのでは次年度以降考えざるを得ない。組織運営を考えると、参加人数が集まらない事業には経費をあてることは困難。何を第1優先にするか、事業部研修、地区研修などの必要性があるのか、会員のニーズに合った研修が開催できているのか等の根本的な所を検討する必要がある。静栄は、他県と比較して、潤沢に研修会が行われている。しかし、参加者は少ない。費用対効果が見える研修企画が理想。人を集められる企画、予算を削りながら、建設的な形の中で研修会を考える。
- ・知識を得るための研修会であれば、学会やオンデマンド等、いくつかの機会はある。多くの研修会が、オンラインやオンデマンドで、簡単でかつ無料というものが増えており、日栄でもオンデマンドで、無料で聞けるものも増えている。ニーズが変わってきている。会員のニーズを拾い上げる場所があると良いが、そもそも研修会に参加してこないと拾えない。
- ・オンライン・オンデマンドだけでは難しい内容、同じ分野だけではなく、関係を築けるような研修会をできると良いし、行き詰まったときに相談できる場があれば良い。理事が拠点となって、つながりをつくっていく。
- ・交流会、イベントは残したい。顔が見える関係づくりは必要。+研修会の抱き合わせが必要か。

地域との絡み、現場で動ける人材の育成。聞くだけでなく、実際に参加する機会があると違うのではないと思う。対面で、自らが体験できるということも大事。同じ方向性でできる体制づくりが必要。

- ・ 東部地区で、試験的に 講演会をしないで交流会を開催予定で、いろいろな事業部から参加を予定している。講演会では、人を呼べないという結論に達した。個々に関心がある内容は違うので、全員が同じように興味を持てる網羅できる企画は困難。同じ栄養士で、違う分野で活動している栄養士の話を知りたい、栄養士会に入会していないけど、参加したいと希望する人あり。学生で、参加してみたいとの希望もある。仲間が一人でも増えると良い。
 - ・ 未来を担うために、防災、栄養ケア・ステーションや地域に出て行くことが求められている。各職域でやらなければならないことはやる必要あるが、工夫も必要。受け身ではなく、動ける人を増やしていくこと。そこに特化した内容を考える。
 - ・ 公衆栄養の話し（健康日本 21 の話しや県の健康増進計画など）を、県庁の栄養士から聞きたいと希望あり（日置理事より：依頼があれば対応出来る）。
 - ・ 県は健康増進計画、食育推進計画、歯科の計画 3 本同時に健康計画が変わる。県としては、いろいろな団体、組織や市町・学校・県や政令市など、いろいろな会があり、話をしてほしいと依頼がある。共通のテーマは難しいが、保育所の栄養士にあったテーマなど、他と重ならない、栄養士会ならではのできることを考えていく必要あり。
 - ・ 災害支援はどの分野でも絶対に必要。いろいろな場所で、いろいろな活動をしていかないと、有事の際に栄養士として動ける人材にならない。静岡県の中で、分割して動く必要もあり、地区の方も、防災については必要と考えている。
 - ・ 栄養 CS の活動も広い職域で同一の知識習得が必要であると思われる。地域に出て行くための人材育成をする必要がある。いま求められているのは、在宅を推進していく中でどうやって動けるようにしていくのか。一緒に指導してくれる人、プリセプターをどう育てていくのか。
 - ・ 研修を減らすだけではなく、どのように企画をするのか。運用方法など含めて、企画を考える。いろいろな分野が必要性を考えて、横割りや実益を兼ねて考えていく。縦割りではない研修会が必要だと思う。
 - ・ 一般会員に伝わっているか。横つながりで、職域が合同で行うのも良いか。会員が離れることを避ける。
- ➡次回理事会（10 月）に再度協議。どうすべきか等、発議があれば、あげていただく。
オンデマンド・オンラインの良さもあるので、それは残していく。総会、栄養士大会等、多くの方に来ていただきたい。内容に対して工夫・知恵をあげてもらう。

(5) 学術部（栄養士大会企画委員会）（戸田理事）

開催方法と栄養士大会演題募集について（別紙：案内通知あり）

- ・ 資料は昨年と日付のみを変更したもの。

- ・アンケート：WEB 参加者は来年も WEB で、会場の方は来年も会場で希望（WEB 60%、会場 40%）。
- ・WEB 参加の方にも対応できるようにしたいため、開催方法はハイブリッドで行う。
- ・7月の郵送で演題募集を募る。演題は1事業部1演題の提出をお願いしたい。➡承認。
- ・WEB 参加の人にはトラブル（ネットの不安定さ等でのロス）が起こる可能性があることを伝える。
- ・アンケート結果より、6割以上が異なる職域の栄養士さんの仕事を知りたい。
5割が横のつながりを作りたいとの意見があり、考慮してすすめる。
- ・昨年度は交流の時間が少なくなってしまった。今年度も会場参加者には、時間内で交流の時間も確保をする。

(6) 研修部（渡邊美子理事）

①2024年度の研修会について

- ・開催方法の検討（1日に集約しての研修会開催が可能か） ※アンケート資料参照
- ・同日開催困難な場合、計画を前年度のいつ頃までに立てることが可能か
- ・理事アンケートの結果、研修会の同日開催は23%が賛成。同日開催可能は30%。
- ・3事業部、学校、医療は、日栄の全国展開の研修や、演習を含めた1日研修での企画のため、合同開催が困難であると思われる。
- ・ブロックとどのように抱き合わせていくかを今後検討が必要。
- ・同日は難しい場合は早めに内容を決めて重複しないように注意が必要。
- ・研修会の案内配布は一覧表で、詳細の案内は、ホームページに掲載する案について
- ・郵送での研修案内はそれぞれの研修案内を同封するのではなく、期間の研修一覧表を1枚にまとめた案内とする（個々の研修案内は、各自でホームページより確認）。
- ・ホームページ上では、1研修につき、1つの研修案内は必要。
- ・もっと見やすいフォーマットを作る必要があるか、それぞれが気づくことがあると思うので、提案としてあげていただき、会員が使いやすいホームページにしていこう。
- ・タイトルだけあって、QRコード等が掲載されている様式も良いのではないかな。

②認定管理栄養士増加に向けての対策など

- ・各事業部の現状や対策の情報交換
- ・認定については多くの意見があり、認定をとってもメリットがないという意見もあるが、実績を作ることが大切。認定に魅力を感じていない人が多い印象。
- ・日を改めて議論。まずは近くの方に声をかけていく。

③広報（ホームページ）について

- ・年間予定一覧表について、これまで年度が替わったタイミングでの更新ができていなかった。
- ・ホームページの固定ページで管理されており、移動先を変更する必要あり。
- ・年度が替わるタイミングで入れ替えられるよう、山崎理事より送っていただいた前年度のコピーを研修部で修正して山崎理事に返し、保守契約の中で、更新・置き換えをしてもらう。

- ・内容は研修部で更新する（山崎理事に編集マニュアルを作成していただく）。
- ・静栄主催以外の日栄の研修案内等で、会員の皆さんに周知が必要な内容の案内について

<流れ>

- ・日栄から県栄会長宛に参加勧奨等の案内メールが届くと、事務局長にて三役及び対象の事業部長宛に転送。
- ・三役・事業部長にて、静栄ホームページへの案内が必要か判断。
- ・必要と判断した場合、日栄からの案内については、広報部は通さずに担当事業部で対応。
- ・締め切り直前の参加勧奨などもあり、スムーズに会員への案内・周知をする。
- ・ホームページの案内（案）を作成したら、事務局へ連絡。
- ・安倍事務局長にて確認して、アップ。
- ・試行錯誤で運用してみる。➡承認

(7) 学校健康教育事業部(松島理事)

個別的な相談指導推進のための研修会

日時：2023年11月25日（土） 13：30～16：40

開催方法：WEB

講師：豊田市立豊田特別支援学校 栄養教諭 重田玲子 先生

- ・グループワークを取り入れた研修にするため、コーディネーターに補助を依頼する予定。
4～6名で1グループ。現時点では日程だけ伝え、人数が定まってきたら改めてお願いします。
コーディネーターの謝礼金額をいくりに設定するか。予算が不足する場合は他から流用していただくことは可能か。
- ・講義とGWのコーディネーターは日栄に登録された人に依頼する。
- ・集客目標は30名。であればコーディネーターは5名だが、1グループMAX7名×4グループ、合計28名の参加目標
(内容的には、他事業部でも参加可能。栄養教諭に参加してもらえるとよい)
- ➡予算は20,000円であるため、コーディネーター4名×5,000円=20,000円とするで承認。
また、今回は、予算の流用の範囲内で対応する。

(8) その他

①会費未納者への連絡について（事務局 安倍）

会費未納者 154名（6/27現在）。会費納入催促メール、はがきを送る予定。
昨年度は理事に未納者リストから連絡できそうな会員への連絡をお願いした。
今年も同様をお願いしてよいか。

- ➡会費未納者に7月中旬にメールまたは葉書で催促通知。それでも未納の方は8月に葉書で通知。
知り合いの方がいたら声かけをお願いします。

6 承認事項（協議を経ず理事会で承認を受けたいもの）

(1) 新入会員の承認について（久保田総務部長）

63 名（6 月 26 日時点）（昨年同時期 84 名） 今年若干減少
→承認

(2) 2023 年度月別研修予定一覧（研修部）

※資料参照 ➡承認

(3) 研修会広報について（医療事業部 鈴木）

①公社静岡県看護協会主催「医療従事者向け障害福祉事業研修」開催案内

令和 5 年 10 月 9 日（月）9：30-16：30

医療的ケア児等へ関わる医療職が障害福祉サービス概要及び利用に必要な知識を学ぶ

➡ホームページに掲載、郵便物に同封について、承認

②日本病態栄養学会静岡県支部主催、症例検討から学ぶスキルアップセミナーの開催

上記①及び②について、会員への広報（チラシ及びホームページによる周知）を行いたい。

各県におけるスキルアップを目的、静栄に後援依頼を提出。➡HP 掲載について、承認

(4) 栄養ケア・ステーション交流会について（杉山理事）

10 月 29 日（日）に予定している栄養ケア・ステーション交流会について

ケア・ステーションの説明や現場の声を盛り込んだ交流会にしたいと思い、開催案内作成。

資料参照。オンラインで開催。➡承認

(5) 8 月初旬封入研修会案内

①11/26 病態栄養研修会 ②R 5 年度 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る研修会

③11/10 栄養マネジメント研修会 ④栄養 CS 交流会

⑤個別的な相談指導推進のための研修会 ⑥静栄 DAT スタッフ養成研修

➡承認。 7/25 までに事務局に最終原稿を入稿。

(6) 弥生（顧客管理ソフト）の購入について（事務局 安倍）

今年の予算に入れてなかったが、秋発売の新製品が出るとデータ移行ができなくなるため、それまでに購入が必要となった。（ダウンロードパッケージ版 5,000 円弱）

また、1 月に浜松市の区再編があるが、郵便番号辞書の随時更新は別途サポートに加入が必要のため、来年以降のリリースでバージョンアップする必要がある。

既に登録している住所については手動で修正が必要。およそ 330 件 ➡承認

7 連絡事項

(1) 会員への通知発送について

- ・ 8 月初旬研修会案内送付。7/25 までに事務局に最終原稿を入稿。

8 その他

- ・ 食品表示が変更となった（新食品表示のパンフレットにくるみ追加）。
- ・ インボイス制度 10 月から開始予定。7/4・6 の説明会に参加し、栄養士会も準備する。
- ・ 新入会員を巻き込んだ活動、退会防止策を検討していく。
- ・ 職域事業部の再編は当会・北陸ブロック会議で情報を持ち帰り、三役、事業部長で協議した上 10 月理事会の議題とする。

9 確認事項

(1) 行事日程の確認について

- ・ 資料の通り

本日の ZOOM（WEB 会議）システムを用いた理事会は、終始異状なく議題の審議が終了した。

以 上

出席理事	新井 英一
	久保田 美保子
	若林 恭子
	松島 天子
	戸田 知里
	日置 朝子
	塚本 ゆみ江 (WEB)
	三浦 綾子 (WEB)
	篠原 啓子
	森下 知代
	山崎 靖晃
	池谷 広美
	森平 教子 (WEB)
	白石 明子 (WEB)
	青島 千恵
	栗原 理江
	鈴木 恭子 (WEB)
	渡邊 美子
	渡邊 潤
	中村 朱美 (WEB)
	太田 紘之 (WEB)

田森 稔浩
柳澤 利哉
出席監事 梅木 幹子(WEB)
関 明子(WEB)

議事録作成者 渡邊 美子
議事録作成者 渡邊 潤

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

2023年7月2日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 新井 英一 
副会長 久保田 美保子 
副会長 若林 恭子 
監事 梅木 幹子 
監事 関 明子 

